

● 業況判断（DI）\*2

前回（2024年6月）からの変化

全産業（8,787社）	17 % p	2 % p ↗
不動産業（383社）	33 % p	0 % p →
大企業	52 % p	0 % p →
中堅企業	34 % p	△ 1 % p ↘
中小企業	24 % p	0 % p →

全産業（全規模）の業況判断は2%p改善の17%p。

不動産業（全規模）の業況判断は変わらずの33%p。また、大企業は変わらずの52%p、中堅企業は1%p悪化の34%p、中小企業は変わらずの24%pとなった。

● 先行き（3ヶ月後）

変化幅\*3

全産業（8,787社）	11 % p	△ 6 % p ↘
不動産業（383社）	26 % p	△ 7 % p ↘
大企業	48 % p	△ 4 % p ↘
中堅企業	25 % p	△ 9 % p ↘
中小企業	18 % p	△ 6 % p ↘

不動産業の3ヶ月後の業況の先行きについては、大企業、中堅企業、中小企業いずれも今期比で悪化を見込んでいる。

● 業況判断の選択肢別社数構成比

	最近			先行き		
	大企業	中堅企業	中小企業	大企業	中堅企業	中小企業
製造業（DI・%p）	15	16	6	15	10	2
1.良い	23%	27%	22%	20%	21%	17%
[構成比] 2.さほど良くない	69%	62%	62%	75%	68%	68%
3.悪い	8%	11%	16%	5%	11%	15%
非製造業（DI・%p）	34	25	15	28	18	10
1.良い	37%	31%	26%	31%	24%	21%
[構成比] 2.さほど良くない	60%	63%	63%	66%	70%	68%
3.悪い	3%	6%	11%	3%	6%	11%

● 土地投資（2025年度計画）

土地投資額 （全産業） [2024年度計画]	前年度比	修正率*4
	-11.1 % ↘	3.4 %
	[6.2 %]	

\*1 回答期間は 8月27日 ~ 9月30日

\*2 業況判断(DI)は、「良い」-「悪い」%ポイント。判断の分かれ目はゼロ%ポイント。

\*3 先行きの変化幅は、今回調査の業況判断との対比

\*4 修正率=(今回調査の母集団推計値-前回調査の母集団推計値)÷前回調査の母集団推計値×100